

新土木工事積算大系  
工事数量総括表での階層解説

平成18年度

船橋市

## 新土木工事積算大系 工事数量総括表での階層解説

(例：下水道管きょ工事)

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
本工事費		式	1			
管路		式	1			レベル1
管きょ工(開削・管径200mm)		式	1			レベル2
管路土工		式	1			レベル3
管路掘削		式	1			レベル4(検収対象とならない)
管布設工	レベル5	式	1			レベル3
硬質塩化ビニル管	VU 200支給無	m	219			レベル4(検収対象となる)
管路土留工		式	1			レベル3(検収対象とならない)

- レベル4(細別)は、単位とともに契約数量を表示するレベルであり、契約上の取引対象となる。  
上記の例では、「硬質塩化ビニル管」の単位・数量は「219m」となっているので契約上の取引対象となる。  
しかし、「管路掘削」はレベル4でありながら単位・数量が「1式」となっているので契約上の取引対象とはならない。  
このように、当該工事において、何が契約上の取引対象となるか、発注者がレベル4の表現で明確にしている。
- 仮設工や土工などで契約上の取引対象としない場合には、レベル3を「1式」表示として、レベル4を表示しない場合がある。  
上記の例では、「管路土留工」は契約数量としないので、レベル3で「1式」とし、レベル4を表示していない。
- レベル5(規格)は、材料の材質や規格、契約上明示が必要な条件などを表示している。  
上記の例では、「硬質塩化ビニル管」を「219m」布設する条件は、管の規格がVU管、管径は200mm、支給の有無は無しということである。